

みずほCustomer Desk Report 2020/08/26 号 (As of 2020/08/25)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	106.01
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.00	1.1794	125.01	1.3066	0.7170
SYD-NY High	106.58	1.1843	126.02	1.3169	0.7198
SYD-NY Low	105.87	1.1785	124.95	1.3059	0.7150
NY 5:00 PM	106.41	1.1834	125.93	1.3150	0.7195
NY DOW	28,248.44	▲ 60.02	日本2年債	-0.120	0.00bp
NASDAQ	11,466.47	86.75	日本10年債	0.030	1.00bp
S&P	3,443.62	12.34	米国2年債	0.152	▲0.09bp
日経平均	23,296.77	311.26	米国5年債	0.296	1.44bp
TOPIX	1,625.23	18.10	米国10年債	0.688	3.42bp
シカゴ日経先物	23,305.00	125.00	独10年債	-0.4270	6.80bp
ロンドンFT	6,037.01	▲ 67.72	英10年債	0.2615	5.10bp
DAX	13,061.62	▲ 4.92	豪10年債	0.8890	2.60bp
ハンセン指数	25,486.22	▲ 65.36	USDJPY 1M Vol	6.48	0.07%
上海総合	3,373.58	▲ 12.06	USDJPY 3M Vol	7.91	▲0.06%
NY金	1,923.10	▲ 16.10	USDJPY 6M Vol	7.50	▲0.07%
WTI	43.35	0.73	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	152.64	1.38	EURJPY 3M Vol	8.03	▲0.07%
ドルインデックス	93.02	▲ 0.28	EURJPY 6M Vol	7.98	▲0.13%

東京	東京時間は106.00レベルでオープン。日経平均が新型コロナウイルス拡大への懸念が強まり急落した2月下旬以来の水準を回復する中、ドル円は底堅い値動き。一方、27日に控えるジャクソンホールでの講演を控え、様子見ムードも出ており、上値も重く、106円ちょうど付近での値動きに終始し、106.00レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.00レベルでオープン、リスクオンムードの中で、株高に支えられ106.49まで上昇、106.42レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3102レベルでオープン。朝方は売り買い交錯し1.3100を挟んだのみ合いだったが、リスクオン地合いの中でポンド買いが強まり1.3134レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日の米中電話会議では、通商協議第1弾で合意した内容の進展を両国で確認し、合意の成功に必要な措置をとることにコミットすることが示され、米製薬会社と独バイオテック会社が共同で開発しているワクチンが10月初めにも認可されるようなデータがあることが伝わったことに加え、ドイツの経済指標が予想を上回ったことから、海外市場ではリスクオンのドル売りが強まる一方、円売りドル円は下値をサポートされ、106.49まで上昇し、106.42レベルでNYオープン。朝方は、安倍首相が28日に会見を開き、新型コロナウイルス対応と自身の体調について言及がある見通しとのヘッドラインから円が買われ、106.26まで反落する動きも見られたが、その後は下げ渋る。10時に発表された米8月消費者信頼感指数は現況、期待指数が前回から大きく悪化し予想を大きく下回ったものの、同時に発表された米7月新築住宅販売件数が90.1万戸と低金利やバイトアップ需要を背景に予想を大きく上回り、一旦ドルが買い戻され短期的なレジスタンスとして意識されていた106.50を抜け106.58まで上昇する。午後は好調な2年債入札結果を受け金利が低下する動きに再びドル売りが持ち込まれ、106.30まで反落し、106.41レベルでクロスした。一方、ユーロドルは独第2四半期GDP結果が予想程悪化しなかったことや、独8月IFO景況感指数が予想を上回り、海外市場で1.1842まで戻し、1.1814レベルでNYオープン。朝方は一旦ドルが買い戻され1.1804まで反落するが再びドル売りが持ち込まれ1.1843まで戻す。正午過ぎになり再び1.1805まで反落するものの、米2年債入札結果を受けた金利低下を受け再び買い戻しが強まり、1.1834レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさうにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

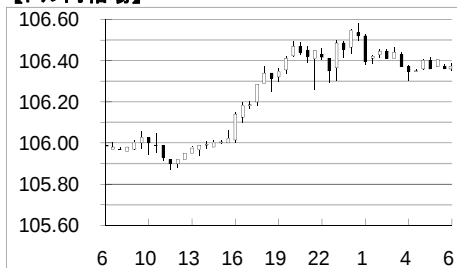
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	8月 92.6	90.4
	17:00	独 IFO期待指数	8月 97.5	96.7
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月 84.8	93
	23:00	米 新築住宅販売件数	7月 901k	790k

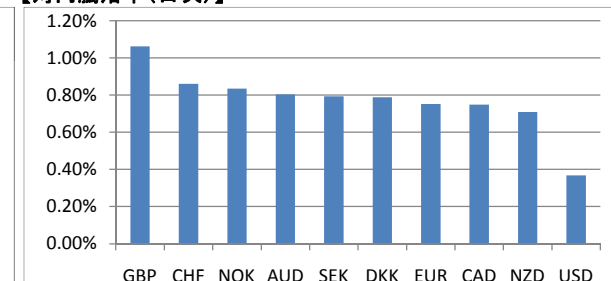
【本目の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月26日	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月 4.7%	7.6%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	7月 2.0%	3.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.1780-1.1900	125.30-126.30

【マーケット・インプレッション】

106.00円近辺で動意の乏しい動きに留まった東京時間から一転、米中対立・新型コロナウイルス開発進展のヘッドラインを背景にリスクオン地合いによるドル売りが強まる中、それ以上の広範な円売りが勝り、海外時間のドル/円は上昇する展開。一時106.58円をつけるも、その後は伸び悩み106.41円でクローズ。昨日は米中対立・新型コロナウイルスと、市場が特に注目するヘッドラインが取引材料となり上昇したものの、106.50円近辺を高値とした上値は依然として重く、27日開催のジャクソンホール経済シンポジウムまでは様子見の段階が続くのではないかと見られる。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア		6	15